

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、消化器・一般外科では、九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学分野大学病院胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科と共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究機関に対して提供しています。

下記共同研究課題での利用のため本学から提供する診療情報等については、この共同研究での利用・提供についての同意が研究対象者の方から得られていませんが、当該利用・提供を行うことについて、「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由等が倫理委員会によって認められて、本学の理事長が提供を許可しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] Splenic preservation versus splenectomy during laparoscopic distal pancreatectomy for benign and low-grade malignant pancreatic tumor. A propensity score matching analysis
(良性～低悪性度膵腫瘍に対する腹腔鏡下尾側膵切除術の際の脾温存術と脾合併切除術の比較検討；Propensity score matching 解析を用いる)

[共同研究の代表責任機関及び研究代表者]

代表責任機関・研究代表者：九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学分野 教授 中村雅史
本研究に関する問い合わせ先：九州大学病院 胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 助教 仲田興平

電話：092-642-5441（内線2246）（応対可能時間：平日9時～16時）

[利用・提供の対象となる方]

1993年1月1日から2018年12月31日までの間に、東京女子医科大学消化器・一般外科に通院または入院し、LDPを行った方

[利用・提供している診療情報等の項目]

【術前情報】性別、年齢、身長、体重、Body mass index (BMI)、術前アルブミン値、ASA-PS分類、手術歴の有無、術前糖尿病の有無、腫瘍局在、膵切除ラインにおける膵の厚み、および主膵管径、血液学的所見【手術情報】手術日、膵の性状、膵切除ライン、膵切除法、脾温存、脾動脈温存の有無、脾静脈温存の有無、膵断端処理、手術時間、開腹移行の有無、開腹移行の理由、術中出血量、術中輸血の有無【術後情報】病理診断、切除膵の長さ、術後膵液瘻の有無、術後膵液瘻に関連した感染症の有無、術後感染症の有無、術後合併症、合併症対処法、退院日、術後在院日数、在院死、在院死の原因【経過観察データ】新規糖尿病発生の有無、門脈血栓の有無、胃周囲静脈瘤の有無、脾摘出後重症感染症の有無、再発の有無

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：有 無 ）

LDP症例を集積し脾温存術と脾合併切除の成績をPSM解析により比較し、いずれが優れているかを検討する。

[主な共同研究機関及び研究責任者]（営利企業との共同：有 無 ）

- ① 全国の日本肝胆膵外科学会高度技能認定施設のうち参加を表明した施設
- ② Seoul National University Bundang Hospital

[利用・提供期間および主な提供方法]

期間：倫理委員会承認後より2023年3月31日までの間（予定）

提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：消化器・一般外科 教授・講座主任 山本雅一

研究内容の問い合わせ担当者：消化器・一般外科 樋口亮太

電話：03-3353-8111（内線25116）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：03-5269-7507 Eメール：rhiguchi@twmu.ac.jp